

## 2023年 母島列島周辺海域で出会ったイルカたち

小笠原でのミナミハンドウイルカの個体識別調査は、主に父島列島周辺海域で行っていますが、年数回、母島列島や智島列島にも赴いています。2023年は計6回母島列島周辺海域を調査し、そのうち3日間で6つの群れに出会うことができました(図1)。今回は、2023年に出会えたイルカたちの中で、母島列島周辺海域のみで確認されている個体をいくつかご紹介したいと思います。

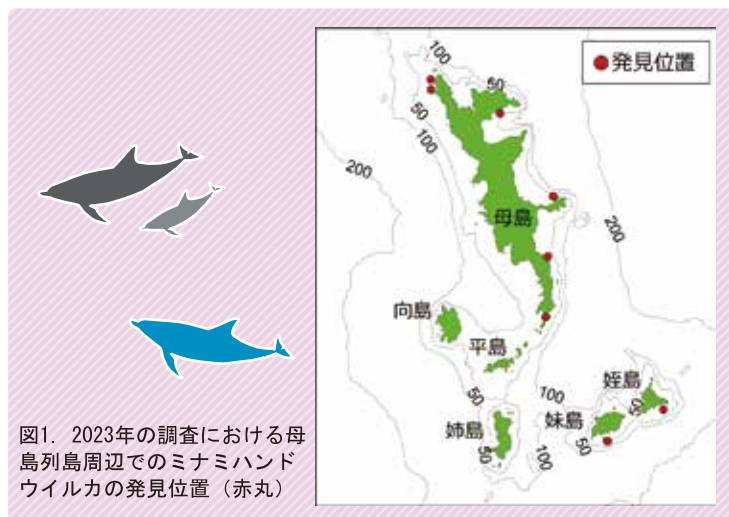


図1. 2023年の調査における母島列島周辺でのミナミハンドウイルカの発見位置(赤丸)

《#214

ニックネーム

チョビ…メス：観察歴2006年～

おちよぼ口のオトナメス。すべてのヒレに特徴的な欠損がある。2023年6月に会った時は妊娠しているように思われたが、その後の情報がないため、出産したかどうかは不明なまま。



《#350

ニックネーム

りょうかけ君…オス：観察歴2018年～

両方の胸ビレにわかりやすい大きめの欠損がある個体。背ビレの欠損も特徴的。



《#362

ニックネーム

トツ子…メス：観察歴2020年～

尾ビレの右先が「凸」を上下逆にした形に欠けている。2023年7月には大きめの子供(#399・ポコ)を連れていた。



《#363

ニックネーム

ロック…オス：観察歴2018年～

尾ビレの右側にあるエアーズロックのような形をした欠損がニックネームの由来。



《#375

ニックネーム

右パツ…メス：観察歴2021年～

尾ビレの右先がパツっと切れているのが特徴。子連れでいるところも確認されているオトナのメス個体。

